

2019年度「当社取締役会の実効性の分析・評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

2019年度の分析・評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役・監査役に配布し、回答を得ました（回答は無記名方式）。そのうえで回答の集計結果に基づき、当社取締役会は取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。またその結果を取締役に報告のうえ審議いたしました。

[アンケートの内容]

- (1) 取締役会の構成について
- (2) 取締役会の運営について
- (3) 取締役会の役割・責務について
- (4) 個人評価および全体評価について
- (5) 前年に提示された問題点・改善点に対する対応について

2. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果、当社取締役会の実効性について概ね評価する結果となりました。全体的な定量評価についても前年に比べ改善の傾向が見られます。

なお、より改善が必要な項目として、取締役と執行役員の役割の明確化、全社的視点からの議論を行うこと、経営戦略および経営計画の施策の検討・決定・進捗等についての報告・確認・総括、経営戦略等への投資家視点の反映、代表取締役の後継者計画の議論、迅速なリスクテイクを行うことに関する意見がございました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、前記の分析・評価の結果を受け、取締役会の実効性についての本質的な議論を踏まえつつ、以下の事項について取り組むことで取締役会の実効性をさらに高めていくこととしました。

- ▶ 持続的成長のためのリスクテイクを適切に行うこと。《新規》

【参考】前回開示

- ▶ ステークホルダーの視点を経営戦略等に適切に反映すること。
- ▶ 適切なリスクテイクを支える環境整備を行う。